

1号議案

令和4年度 事業報告

(令和4年10月1日～令和5年9月30日)

今夏は、日本はもとより世界各地で極端な高温・大雨・干ばつが発生し、大規模火災、大規模洪水、土砂災害、農業被害が頻発しました。世界の平均気温は過去最高だった 2019 年を超え、国連のグテレス事務総長は地球温暖化の時代は終わり地球が沸騰する時代に突入したと発言しました。

このような状況を脱却するため、国、行政、企業はカーボンニュートラルの取組を加速させ、個人は出来る限りの省エネや CO2 削減に取り組むことが強く求められます。

当法人は、水分が 80～90%を占める家庭の生ごみを分別することによって、広域ごみ焼却炉の燃焼効率向上や CO2削減を図り、尚且つ、分別した生ごみを堆肥化し土壌改良材とする循環型社会の事業に取り組んでいる。

《事業に関する項目》

東員町のごみ減量施策と協働して、当法人は一般家庭から排出される生ごみ及び給食センター残渣を堆肥化し、堆肥は1次処理に協力して頂いた家庭と幼稚園・小学校・中学校に無償配布している。又、購入希望者には毎週水曜日午前中の活動日に堆肥舎で販売している。堆肥は家庭菜園や給食材料生産者の農園に使用され、食の循環型社会を構築している。

この事業は三重県SDGs推進パートナーに登録してから1年を経過し、令和5年4月に取組の進捗状況を知事に報告した。

当会の活動の主旨を理解してもらうため、市民活動支援センター主催のポスター展や広報とういんで活動の周知を図り、協力家庭は徐々に増加している。



《会議に関する項目》

- ・令和4年11月14日 :通常総会を開催
- ・理事会および作業員会議を毎月開催 :安全・能率化のため、意思疎通を図った。
- ・役場との打ち合わせ :堆肥化事業をスムーズに実施するため、都度、実施した。

《事業評価に関する項目》

☆生ごみ堆肥化データ

回収世帯数	319 世帯
回収量	45.4on(一般世帯分 20.4ton 給食センター分 25ton)
ごみ減量換算	147.7ton(一般世帯分 78.5ton 給食センター分 69.2ton)
CO2 削減量	35.3ton
堆肥化量	67.4 m ³

☆堆肥化活動総延べ時間

3027 時間

《その他の項目》

☆会員数(9月30日現在) 個人会員 85名、法人会員 7社・団体